

岩手県職労

月2回刊=1452号
2016年1月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジョー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む



「今のことで手一杯、退職後のことなど考えられない」だからこそ、今から始めておきませんか？ 将来のあなた自身へのプレゼント。
在職中は月々1口3000円から掛金を積み立てて退職後の「年金」「医療」「遺族」給付を退職する時に選択
◆お問い合わせ・お申し込みは組合へ

じちろうの長期返済
自治労共済本部
全日本自治労連合会所属

早期内示・職員の要望を踏まえた人事異動の実現を！

県当局へ「16年度定期人事異動に関する要求書」を提出

県職労は12月25日、「2016年度定期人事異動に関する要求書」を菊池人事課総括課長に提出し、現時点における人事異動に向けた基本姿勢を質した。

これに対し菊池人事課総括課長は「内示に当たっては一定の週休日設けるなどできる限り配慮する」沿

う異動の場合には移転先の住居の確保はもとより、家族の養育先の確保など大きな負担となる。このため、要求書には早期内示と本人希望を尊重した人事異動の実施など組合員の切実な要求を反映した11項目にわたる要望事項を掲げた。

岸被災地の厳しい住宅事情を踏まえ、異動先での住居を確保し、転居した時には赴任旅費の対象とする「職員の希望は最大限配慮する」とした。

これに対して県職労から家庭事情はもとより、単身赴任者や長距離通勤者の負担解消の視点での人事異動の実施、欠員解消を訴え当局の対応を求めた。

今後、各職場の定数調整と人事作業が進められるが、引き続き要求実現をめざし交渉を強化していく。

厳しさを増している。更に恒常的な人員不足により職場も疲弊している。組合員の声を積み上げながら、職場から闘争を構築していく

ことが大事だ。安倍政権の暴挙を許さないためにも、来たる参議院議員選挙の勝利に向け運動の前進をめざそうとあいさつ。その後、



早期内示と職員の希望を踏まえた人事異動を求めて人事課総括課長に要望を訴える県職労執行部



菊池総括課長に要求書を手渡す小野委員長（左）

各支部・「旗開き」で始動！

県庁・盛岡支部ほか、3支部2地区を皮切りに

1月6日の県庁・盛岡支部を皮切りに各支部で順次旗開きが開催される。県庁・盛岡支部合同旗開きではエスポワールいわてに97人が

結集した。開会に当たり、小野中央執行委員長から「賃金確定闘争は越年となり、かつ給与制度の総合的見直しの導入が目論まれ、

参加者の懇談やお楽しみ抽選会を開催。親睦を深めるとともに、運動の前進に向けた意志統一をはかった。

参加者の懇談やお楽しみ抽選会を開催。親睦を深めるとともに、運動の前進に向けた意志統一をはかった。

参加者の懇談やお楽しみ抽選会を開催。親睦を深めるとともに、運動の前進に向けた意志統一をはかった。

連合岩手が新春旗開き 参院選勝利で政治の流れ変えよう

1月6日、連合岩手新春旗開きが盛岡市内で開催された。連合岩手豊巻会長から、春闘勝利、非正規雇用の改善などの全ての労働者の処遇改善に全力を挙げるとともに、来たる参議院選挙での勝利に向けて結集を呼びかけた。来賓の達増知事も労働運動の前進にエールを送った。その後参加者全員で懇親を深め、運動の前進に向けて意志統一をはかった。



連合岩手の新春旗開き (1/6)



一関支部・千厩地区旗開き (1/7・サンブラザ及善)



県庁支部・盛岡支部合同旗開き (1/6・エスポワールいわて)



花巻支部旗開き (1/8・なはんプラザ)



釜石支部旗開き (1/7・合庁大会議室)



北上支部旗開き (1/8・合庁大会議室)



花巻支部・遠野地区旗開き (1/7・合庁食堂)

自治労県本部2016春闘討論集会

■日 時：1月22日（金）午後1時30分～
23日（土）午前11時まで

■場 所：1日目・いわて県民情報センター
「アイーナ804A会議室」
※県本部方針提起、分科会
2日目・自治労県本部会議室
※全体講演、集約

※1日目終了後、午後6時からマリオス・スカイメトロにおいて、自治労県本部「躍進旗開き」が開催されます。

第五世代

年未年始は例年よりも休暇が少なかったが、荒天等もなく穏やかに新年を迎えた方も多かったのではないかと、政治の場は慌ただしい新年となった▼1月4日に通常国会が召集され、与野党の本格的な論戦を迎える。安倍首相は元日発表の年頭所感で「石の上にも三年」の諺を引き合いに実績を強調した。この「三年」の真意を考える▼政権発足以来、特定秘密保護法の強行成立、集団的自衛権行使容認の解釈改憲、昨年9月の戦争法の強行成立―まさに戦争する国づくりに向けた三年であり、経済優先、賃上げを要請する一方で労働者派遣法を改悪し、労働者に痛みを押し付けてきた三年だ▼今年安倍政権は何をめざすのか。「新三本の矢」とは言うが資本優先の経済政策を一層推し進め、数の力を背景に7月の参議院選挙を経て、憲法改正を断行することに違いない▼これ以上我が物顔で暴走する安倍政権を許すわけにはいかない。今年には平和憲法を蔑ろにする政権に歯止めをかけるため、7月の政治決戦に向け、改めて政治闘争の意義を学ぼう。

1月下旬 越年交渉ヤマ場へ

「年度内の差額支給」・「給与制度の総合的見直し」阻止がポイント

年度内の差額支給・給与制度の総合的見直し阻止がポイント

1月下旬から2月上旬にかけて越年となった2015賃金確定闘争が再スタートする。闘争体制の再構築に向け、重要課題を確認する。

2015年給与改定

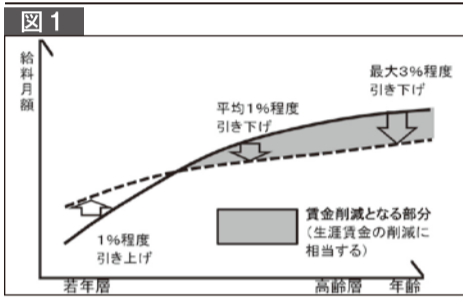
国の給与改定の取扱いが決定しない異常な状況のもと、当局は2015年内の賃金改定を見合わせた。今後開催される2月議会での給与条例の改正案を提案する予定だ。11月の総務部長交渉では「差額支給に向け支障が生じないように努力する」と明言したが、県議

給与制度の総合的見直し

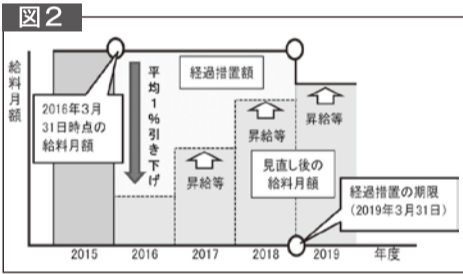
11月の総務部長交渉では、職員への影響を認めつつも、県人勧の趣旨や他県の動向を踏まえ実施すると踏み込んだ回答をした。しかし、図①に示すとおり、平均1%（高齢層は最大3%）に及ぶ賃金削減となり、職場を牽引している中高



11.11総務部長交渉



計り知れない。加えて4級・5級最高号給者の昇給機会を付与するため、それぞれ8号給増設するとしているが、賃金水準が引き下げられており号給増設しても従前の賃金には達しないため、まよかしの増設に過ぎない。ただ退職金に関しては、給与月額を基に算定する基本額が減少するものの、調整額の見直しにより水準は維持すると明言しており、この取扱いも大きな焦点となる。



今後の闘争に向けて

県職労は県地公共同に結

その他の越年課題

当局は制度導入の姿勢を崩しておらず、厳しいたたかひとなる。職員への影響を最小限に抑えるべく、ギリギリの交渉となる。

今、沖縄で何が起きているのだろうか？ 「反基地」の課題に迫る 戦場ぬ止め

2月27日(土) 盛岡市で上映会



昨年9月に戦争法を強行成立させた安倍政権は今年7月の参議院議員選挙の公約に憲法改正を掲げた。まさに、平和憲法擁護の取組の象徴とも言える。沖縄建設を強行している。この機会に今沖縄で繰り広げられている現地闘争の現状を通じて平和について考えることが重要だ。

越年闘争に結集を!

北上支部が定期大会開催



北上支部大会

北上支部第53回定期大会が、1月8日、北上合庁大会議室で代議員24人の参加で開催された。支部大会は3年ぶりの開催となる。冒頭、類家支部長から「人権による給与改定や総合的

【お詫びと訂正】 県職労機関紙新年号で、野口一関支部長のお名前が「隆久」となっておりましたが、正しくは「孝久」さんでした。お詫びをし訂正いたします。

見直しは昨年決定せず越年となった。これは政府の圧力が地方にも及んだことによる。働く者の要求を実現させるためにも県職労の取り組みを進めていくことが必要」とあいさつがあり、2012・2014年度の経過報告の後、職場からの取り組みと、未加入者の解消などを中心とした2015年度運動方針等が全体の賛成で確認された。最後に類家支部長の団結がんばろうで越年闘争に向け、意思統一を行った。

集し、昨年12月から知事あて要請署名に取り組んできた。署名の一言要求には給与制度の総合的見直しへの怒りの声をはじめ組合員の切実な要求が数多く寄せられておられる。これらの要求を実現していくためにも、多くの組合員が闘争に結集していくことが重要なカギだ。越年闘争への結集を改めてお願いする。

- 書記次長** 佐藤 順一 (水産振興センター分会)
- 執行委員** 菊地 高志 (地域振興センター分会) 遠藤 拓央 (土木センター分会) 平野 陽 (保健福祉センター分会) 大槻 康幸 (水産振興センター分会) 外館 光一 (普及センター分会) 高橋 正弘 (農林振興センター分会) 会計監事 花崎 洋子 (保健福祉センター分会) 藤田 章宏 (普及センター分会)
- 支部長** 藤村 敏 (土木センター分会) **副支部長** 佐々木 敬治 (地域振興センター分会) **書記長** 高橋 秀樹 (農林振興センター分会)

ライフステージに合わせて、毎年保障を見直そう!

自分にはこの保障...あっているのかな...? という方も安心! 団体生命共済なら、1年更新なので、ライフスタイルに合わせて毎年保障を見直すことができるよ☆

結婚

出産

マイホーム

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

◆ 詳しくは組合までお問い合わせください。